



まちの VOL.62 サークル 扇さくら会

プロフィール

- 代表者 松田 郁子
- 活動日 毎月2回(第1・3金曜日)
- 主な活動場所 貝田公民館
- 会員数 7人
- 会費 2,000円/月
- 連絡先 ☎ 585-3355

「扇さくら会」は日本舞踊のサークルです。平成12年から活動が始まり、15年以上続いています。平成27年からは名前が変わり「扇さくら会」として活動しています。

「扇さくら会」は貝田地区のメンバーを中心に、講師の佐藤松子先生指導の下「新日本舞踊」の練習に励んでいます。

「扇さくら会」の主な活動は、毎月2回、第1と第3金曜日の夜に集まり練習しています。会員みんな和気あいあいとした雰囲気

の中で、楽しく活動しています。練習の成果は、町文化祭のステージ、敬老会での発表など町やJA関係のイベントなどで披露しています。また、伊達市などの特別養護老人ホームを慰問し、老人ホーム利用者のみなさんと踊りを通して交流を深めています。

今では、会員一同さまざまなステージで踊れるようになりましたが、はじめは全員、舞踊初心者でした。先生からの丁寧な指導と会員のみなさんの支え合いのおかげで、たくさんのおステージで発表できるまでに成長しました。毎月の練習日が待ち遠しく、みんな楽しみにしています。

舞踊は体を動かすので健康にも良く、踊りながら頭も使うので、脳の活性化にもつながり、良いことがたくさんあります。興味のある方は、ぜひ見学にお越しください。みんな初心者からのスタートでしたので、初心者の方でも安心してご参加ください。みなさまの参加をお待ちしています。

水道施設の除染が終了

水道施設の除染については、町内の水源地や配水池、ポンプ場など30箇所を対象に実施してきましたが、去る10月19日をもって現場での作業が終了しました。



東京電力(株)への損害賠償請求書を手交

10月12日、福島第一原発事故に伴う損害賠償請求書を東京電力ホールディングス(株)福島復興本社の林副代表に手渡しました。

賠償の対象期間は平成27年4月からの1年間分として、除染対策に関わる職員の人件費や風評被害対策費、税込減(平成23年度分から平成27年度分)などを請求し、誠意ある対応と早急な支払いを強く要求しました。



「復興のあしおと」では、震災からの復旧・復興に向けた町の取り組みを紹介し



平成28年産あんぼ柿の出荷について ～全量非破壊検査を実施します～

伊達地方特産のあんぼ柿は、原発事故の影響により出荷が再開されてから4年目を迎えます。本年産のあんぼ柿は、昨年同様、原則トレー出荷による全量非破壊検査を行い出荷されます。ただし、平成26年、27年産の検査においてスクリーニングレベルを超過した製品が無いなどの一定の条件を満たした生産者の方は、個別包装品の出荷が可能となり、新しい検査機器により全量検査を実施し出荷することとなります。

トレー製品の全量検査は、11月下旬からJAふくしま未来国見営農センターにて、個別包装品は、あんぼ工房みらいと伊達果実農業協同組合に機器を設置し検査する予定です。安全安心なあんぼ柿の生産、出荷のために農業生産工程管理(GAP)や全量非破壊検査にご協力ください。



除染の進捗状況 (10月26日現在)

- 道路除染**
平成28年度は、町内全域の88.2kmを発注しており、作業終了は32.9km(進捗率37.3%)です。
- 森林(生活圏)除染**
平成28年度は、主に森江野方部の宅地等の生活空間に隣接している森林の除染4.8haを発注しており、作業終了は2.8ha(進捗率58.3%)です。

半澤 蒼斗

和田 瑞生

斎藤 真裕

秦 歩花

いさなみオたち

国見小学校 (3年生)